

10N036_乳_Pembro(1) 3週毎 + PTX(1・8・15) 4週毎

Pembrolizumab (Day 1・22・43・64) + PTX (Day 1・8・15・29・36・43・57・64・71) 12週毎

◆ _____月_____日(Day1)から_____コース実施。 (外来で実施 ・ 入院で実施)

◆ 免疫チェックポイント阻害薬導入時は「投与前スクリーニングセット検査」が必要です。

◆ 検査が実施されない場合、がん化学療法の実施は認められません。

◆ アルコールに対する過敏症はありませんか？ → (有 , 無)

Rp. 商品名	用量 [基準量]	投与方法	
1 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min	● 1・--・--・22・--・--・43・--・--・64・--・--
2 生食注 (100mL) キイトルーダ点滴静注	1 瓶 200 mg [200mg/body]	div / 30min	○ 1・--・--・22・--・--・43・--・--・64・--・--
3 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 15min	● 1・--・--・22・--・--・43・--・--・64・--・--
4 生食注 (100mL) デカドロン注射液1. 65mg ボラミン注5mg ガスター注射液20mg	1 瓶 5 A ※ 1 A 1 A	div / 15min	● 1・8・15・--・29・36・43・--・57・64・71・--
5 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 30min	● 1・8・15・--・29・36・43・--・57・64・71・--
6 生食注 (250mL) パクリタキセル注	1 袋 _____ mg [90mg/m ²]	div / 1hr	○ 1・8・15・--・29・36・43・--・57・64・71・--
7 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ	● 1・8・15・--・29・36・43・--・57・64・71・--

- ・ キイトルーダ注の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2~0.22 μ m)を使用すること。
 - ・ キイトルーダ注の希釈後濃度は、1~10mg/mLとなること。
 - ・ パクリタキセル注投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。
また、点滴用セット等で溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。
- ※ デカドロン注は、医師の判断にて減量可能(最低1Aは必要)